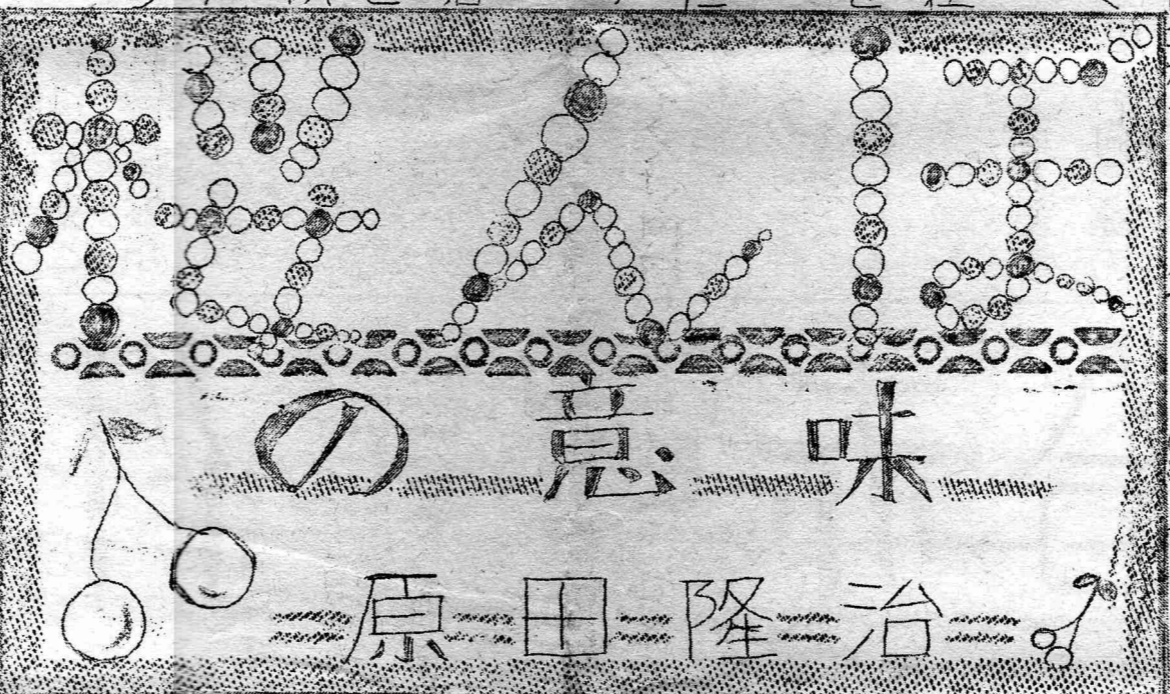


鳥取市より伯備線に乗って用瀬で降り、千代川を渡れば、佐治村である。そこから山奥深く入った尾蔭部落に、桜んぼユートピアがあった。どこへ行って、どここの山村へ行って、そんなのかもしれないが、村民は親切である。

ユートピアを志向する連中が、どうこの中に、先祖代々住んでいる人へ受け取められているのか、一週間の滞在ではばくにはわかりかねる。その関係が、どここの山村に入植するにしても重要なことだ。キャンピアの最初からいる連中は、それがよくわかっている。だが、短期滞在者は直接被害を受けないから、その点、自分だけのユートピアを築いていく。備北での定住者とキャンパーとの関係にも、似た状況があったのではないだろうか。

全この人のためのユートピアはこの村民との問題を拘つてこたわること、道が見えてくると思ふ。それが外との関係での問題点です。

そしてここでの内的関係は、出入りが激しいために、毎日自己紹介が行なわれること、そして事情をつかむのに数日かかること、表面的なものに終つてしまつていく。それが具体的な「家建設」の段になって、ちくはくは進行となるのだ。予定日を過ぎても、まだ「家」はできていない。ある程度



の計画性をもって、松都のように少数の自覚した仲間がやらんと、ユートピアは現実の前で屈するしかないと思う。だが自覚できてない人だつて、それを自分の中に焼き上げ始めることで、ユートピアは自然と皆んなのものになるだろう。

桜んぼユートピアの内的関係も、自分のためのユートピアを建設するの、全この人のユートピアをつくるのか、今だその段階でどまってる。——そうかつ——

僕は、桜んぼの会計算をしてきた人のユートピアはここにあるんだと思ひ込むことで生活するという考えには反対である。僕は、ユートピアと名の付くものを嫌悪する。その言葉を使うことで、現実の重みを軽くさせる事に反対である。現在あるユートピアは、現実から逃げた結果である。それを志向する者は、今だその過程にあるに過ぎない。それ故、桜んぼはこの世に存在しない。あるのは、美しい顔をした老女である。そして滞在中は、建設協力委員会なる分派ができたのは必然的なことである。彼らは、単に家を建てることを考えているのではないはずだ。それなら土建屋に頼めば良いのだ。問題は、アマチュアに落し込まれてくる我々が、その囲いを取りかすために自分の手とする時、根づいたユートピア志向者になり始める。自分自身まだ未熟なために、失敗を恐れるために、専ら屋にまかす傾

向を恐れるために、専ら屋にまかす傾

CCMリーナー 教えます

「パレスチナ・グリラとイスラエル革命——シオニズムの階級相対的分析」 マツペン(イスラエルの社会主義組織)によるこの貴重な論文を、広河隆一氏が「情況」紙10月号に訳して頂きます。

イスラエルとキブツに行きたい人にとってには心読の文章である。大体この問題についての中立くなんてあり得ないし、へ無関心くはそれ以上犯罪である。キブツへ行く人はすべからず、自分はどっちにつくのか、自分は銃を持てるのか持たないのかを、はっきりしておくべきである。それができない人は、イスラエルにもアラブにも行くべきでない。血みどろで斗っている横で、太陽もオレマジも、ミョート・パンツのネちゃんもないだろう……。

「ロシア革命の幻想——ホルシェツギと労働者管理」を尾関弘氏が新しく三一新書から出しました。一九一七年から二二年にいたるロシア革命の腐敗と崩壊の過程を、労働者管理の視点から年代記風に追ったものです。労働者管理の問題は、いわば共同体運営の問題です。とすれば、ロシア革命は失敗した共同体実験であるといえるでしょう。本書はそれを実証的に証明してくれま

備北百人委員会へ大阪市東成区玉津二丁目東成玉津郵便局留は、三〇〇円の本書を三〇〇円で販売いたします。本屋で買つてやっ下さい。本屋をもつて下さすことおまへん。

350  
300  
150

向を持っている。それが自身の課題であり、志向する者全この課題だと思ふ。——亦兼え郷共同体にて——